

カリキュラム区分		4カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門科目	412	2年	後期	臨床検査学科	必修	臨床血液学 Clinical Hematology	30	2
担当教員								
竹内 一人								
関連するDPキーワード（看護学科）								
	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	○ ② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	○ ③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	○ ④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
血液疾患の臨床的特徴とその診断、治療、経過と予後について理解し、実務経験に基づき血液疾患における血球計数、形態、血栓止血、遺伝子検査の評価のポイントを理解する。授業内容に記載した血液疾患の臨床的特徴とその検査データの特徴を理解する。さらに、血液疾患の診断と最新の治療について臨床医の立場から学ぶ。これらを通して、実際の臨床現場において、医師、看護師、薬剤師、理学療法士、介護福祉士などのスタッフと密な連携をとって血液疾患診療の一翼を担うことができるようになるために、医療従事者として必要な臨床血液学の知識を身につける。								
到達目標（授業目標）								
	①血液疾患における赤血球系・白血球系・血小板系細胞の形態学的特徴および変化を説明できる。							
	②貧血の分類とその疾患の特徴を理解し、病態について説明できる。							
	③白血病など造血器腫瘍の診断に用いられているFAB分類、WHO分類の概略を説明できる。							
	④凝固・線溶系検査の基礎を理解し、疾患のデータを読むことができる。							
授業計画（項目・内容と方法・担当者）								
回								
1回	赤血球系疾患（1）・赤血球系の基準範囲、赤血球形態の異常について講義する。							
2回	赤血球系疾患（2）・小球性低色素性貧血（鉄欠乏性貧血、慢性炎症性疾患、鉄芽球性貧血）について講義する。							
3回	赤血球系疾患（3）・正球性正色素性貧血：造血幹細胞・前駆細胞の異常（再生不良性貧血、赤芽球癆、骨髄置換性病変による貧血）について講義する。							
4回	赤血球系疾患（4）・正球性正色素性貧血：赤血球の破壊亢進による貧血（遺伝性球形赤血球症、橢円赤血球症、先天性酵素異常症等）について講義する。							

5回	赤血球系疾患（5）・正球性正色素性貧血：赤血球の破壊亢進による貧血（異常ヘモグロビン症、PNH、自己免疫性溶血性貧血、サラセミア、赤血球破碎症候群）について講義する。
6回	赤血球系疾患（6）・大球性正色素性貧血（巨赤芽球性貧血－ビタミンB12欠乏、葉酸欠乏－）、多血症について講義する。
7回	白血球系疾患（1）・白血球の基準値、白血球の形態異常、白血球機能異常症について講義する。
8回	白血球系疾患（2）・白血球増加症、白血球減少症、リンパ球の異常について講義する。
9回	造血臓器の疾患、M蛋白血症（1）・骨髄増殖性腫瘍（慢性白血病、特殊な白血病）について講義する。
10回	造血臓器の疾患、M蛋白血症（2）・白血病（急性白血病とFAB分類、WHO分類）について講義する。
11回	造血臓器の疾患、M蛋白血症（3）・骨髄異形成症候群（FAB分類、WHO分類）、多発性骨髄腫、原発性マクログロブリン血症について講義する。
12回	出血性素因、血栓性素因（1）・血小板の異常による出血性素因について講義する。
13回	出血性素因、血栓性素因（2）・凝固・線溶因子の異常、血管の異常、血栓性素因について講義する。
14回	血液内科の診療（1）・血液内科最新の治療（臨床現場での最新の治療法など）について講義する。
15回	血液内科の診療（2）・血液内科最新の治療（臨床現場での最新の治療法など）について講義する。
16回	
17回	
18回	
19回	
20回	
21回	
22回	
23回	
24回	
25回	
26回	
27回	
28回	
29回	
30回	

成績評価方法及び基準

筆記試験（100％）により評価する。
評価は100点満点とし合計60点以上を合格とする。

教科書	奈良信雄・小山高俊 著「最新臨床検査学講座 血液検査学 第2版」（医歯薬出版）
参考図書等	JAMT技術教本シリーズ「血液検査 技術教本 第2版」（丸善出版） 矢富裕、増田亜希子、常名政弘 編「血液形態アトラス」（医学書院） 医療情報科学研究所「病気がみえるvol.5 血液 第2版」（メディックメディア）

授業時間外の学習について（授業準備のための指示）

前回講義分に関して復習しておくこと。

関連科目

前科目	145	人体の構造・機能Ⅱ	402	生化学	411	血液学	430	免疫学	407	病理学
後科目	413	臨床血液学実習	422	遺伝子検査学	423	遺伝子検査学実習	449	医学検査診断学Ⅰ	448	臨地実習Ⅲ

実務家教員

医師（医療機関）	竹内 一人								

備考	
----	--